

## Advanced Homeopathy by Banerji

### \*アレルギー性鼻炎

鼻のアレルギー性炎症のこと、鼻の鬱血、くしゃみ、水っぽい鼻水などが見られる。季節性のもものと通年性のものである。季節性の代表が、花粉や草によるもの。通年性の代表が、ほこりやダニ、羽、イースト菌、動物の毛、黴、薬品、香水などがある。熱はない、遺伝性、好酸性が高い、透明な水っぽい鼻水、目にも刺激がある、アレルギー性喘息の原因になる

### \*急性鼻炎

熱も出る、遺伝性はない、好酸性は普通、薄いまたは濃い鼻水、アレルギー性喘息とは関係ない、肺の下部に進行する

### \*慢性鼻炎

鼻の粘膜の慢性的炎症、分泌物の増加と粘膜の肥厚、急性鼻炎が繰り返された結果、副鼻腔炎、アデノイド肥大、鼻の中心の変形、血管収縮作用のある薬の長期間服用、埃や有害な大気による絶え間ない粘膜への刺激、タバコ。夜に鼻詰まりが悪化、嗅覚や味覚に影響する、濃いまたは水っぽい鼻水、絶えず鼻をかむ必要がある、頭が重い

Calc carb 30c: 1日置きに1~2年(1週間に2回を半年して、1ヶ月に1回を半年)

風邪になりやすいため、慢性的状態を改善

Allium cepa 30c: 1日1回(ひどい場合は、増やす)

ひとしきり続くくしゃみ、鼻水は刺激性、鼻詰まりはない、目の痒み、前頭部が重い、目と鼻から分泌物

Euphrasia 200c: 1日1回(ひどい場合は、増やす)

特徴のない大量の鼻水、刺激性の涙、赤い目、くしゃみ

Ammonium Carb 200c: 1日おき(ひどい場合は増やす)

くしゃみ、鼻水、鼻詰まり(夜間)、夜間の喘鳴(横になると悪化、鼻のポリープの履歴があるかも)、鼻水は透明、鼻詰まりにより口呼吸になる、片側に起こることもある

Bryonia 30c 1日に3~4回

空咳、急性の苦しい咳、錆色の痰と喘鳴、寒くなる天候の変化から

Arsenicum album 6c 1日に2回、または30分毎、1分毎(急性)

くしゃみ発作を伴う喘息、鼻風邪、水っぽい鼻水、絶え間なく鼻を拭う、鼻詰まりは共通の症状ではない

## Dry cough(乾いた咳)

Heper sulph 200c

乾いた咳のベストレメディ、ムズムズする咳、ガラガラいう咳、くすぐったく感じる、大体喉の痛みを伴う、声枯れ、咳払い

Spongia 30c

夜間の咳、ノコギリを引くような音、痙攣性の長い途切れない百日咳、改善しない場合は、Mag phos6X(ティッシュソルト)を使うと良い

Arnica 3c

結膜の出血の原因となる咳

Drosera 6c and 30c

心臓病のクライアントには与えない。痙攣性の咳で夜間に悪化、横になると悪化、温かい飲み物で悪化、12時間に1度しか与えない

Cina 200c: 適宜

しつこく続く子どもの咳、頑固なこども

Phytolacca 200c: 適宜

耳に痛みがくる咳

Bryonia 30c: 一日おき

乾いた咳、痰はないかあっても少し。がらがらしない、いびき音のようなものが聞こえるかも。窓が開いている中寝た後に咳が出るようなら予防的に飲む。

Sulphur 30c: 適宜

抗生物質を使った後に出る咳をきれいにする

## Wet cough(湿った咳)

Ipecac 30c (特に子ども): 適宜

子どものガラガラいう咳に。大人の心臓性喘息に、吐き気や嘔吐を伴う時

Antimonium tart 30c: 適宜

老人、頻繁に与えない。心臓のトラブルを起こしやすい

Pulsatilla 30c: 適宜

緑色の粘液

Bryonia 30c: 適宜

肺から粘液が出る

### Influenza(インフルエンザ)

Lycopodium 30c

風邪やインフルの最初の兆候が出た時に抗ウイルス代わりにする。通常 1 粒で良い。もし、これで改善されないなら、

Pulsatilla 30c を与える

Rhus tox 30c: 1時間に一度

高熱ではない、天気が寒くなった時、季節の変わり目の風邪に

Eupatorium 30c: 適宜

骨の痛み、熱、鼻水

Baptisia 30c: 適宜

非常に高熱の場合